
青森からやってきたストミュー

頼白井

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

青森からやってきたストミュー

【Nコード】

N6172A

【作者名】

頬白井

【あらすじ】

青森からギター一本一人旅……してきた青年と会話する大学生。夢とは？現実とは？……ということ語る前段階でダメかもしれない話。……ってか、あらすじはアテにしないで下さいと、読者にリカヴァを求めるダメ作者。

『青森からギター一本持って旅してます。聞いてってください』

駅前広場でアコースティック・ギターを掻き鳴らしている青年の前、開いてあるギターケースに貼り付けられた紙には、そう書かれていた。

昼間の駅前には、人通りが良くても、青年が歌っている『夢を諦めるな』とか、『勉強より大事なことがある』といった内容に共感するような年代、高校生から大学生くらいの人は少なく、結果、足を止める人は少ない。

しかし、さすがに青森からギター一本持って旅をし、通行人がギターケースに投げ入れた小銭程度の収入で食い繋いででも、ミュージシャンを目指すという青年。その覚悟は歌唱力、歌詞、メロディ、どれを取っても、プロ顔負けの物であった。

（全体的には良いんだけどなあ）

午後から大学で、通学途中の哲夫は、青年が歌い終わるまで待ち、そして話しかけた。

「良い曲だったよ」

「ありがとう。よかったら、もっと聴いてってよ」

きつい津軽弁を予想していた哲夫だったが、標準語に安堵する。

「それよりも、あなたの事が訊きたい。わざわざギター一本一人旅してるからには……」

「ミュージシャン目指してます」

そのくらいの目標がなければ、簡単に挫折しているだろう。

「アテとかあるの？」

「アテ？」

「オーディションとか、レコード会社に持ち込むとか……」

「いろんなとこ持ち込んだけど、門前払い食らっちゃって。悔しかったけど、逆に火がついたよ。ホントにいい曲書けば文句はないだ

ろ。顔がいいだけの音痴なアイドルのCDが売れるなんてバカげてる。もっとちゃんと曲を評価しろってね」

この青年に限らず、ミュージシャンを志しているストリート・ミュージシャンの大半はそう思っているのかもしれない。

「そうか、じゃあ、その貼り紙は要らないね」

ギターケースの貼り紙を指差し、哲夫は言う。

「なんでだよ？」

「曲で勝負したいなら、そんな『俺がんばってます』って貼り紙は要らない。それじゃあ、顔のいいアイドルと、大して変わらないよ」
青年は、黙って貼り紙を剥がした。

大学が終わっての帰り、駅前広場には大勢の高校生や大学生が集まっていた。

哲夫はその中心から聞こえる青年の歌声を記憶に留め、CDが発売されたら買いに行こうと心に決めた。

顔も名前も覚えていない。彼の音楽に惹かれたのだから、音楽を買いに行くのが礼儀だ。

(後書き)

「青森からやって来たストミュー」をお読みいただき、まことにありがとうございます。

作者の「頬白井」と書いて「カルカロドン」と読む、頬白井です。由来はホオジロザメの学名。ジョーズの1で、学者さんが言っていましたね。

ということで、評価していただけるとありがたいです。

こういうサイトは、小説家を志す人にとっては発表の場。ストミューでいうところの駅前広場ですからね。

……と、強引に作品と繋げたところで、さようなら。またお会いできる日を楽しみにしています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6172a/>

青森からやってきたストミュー

2011年1月2日14時09分発行